

令和7年度第2回さいたま市民大学運営委員会

日 時：令和7年10月27日（月）

14時～15時30分

場 所：さいたま市立生涯学習総合センター

10階 多目的ホール

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 報告事項

（1）前回の議事録について

4 協議事項

（1）令和8年度さいたま市民大学各コース(案)について・・・・・・資料1・2

① 教養コース ～ ビジネススキルコース

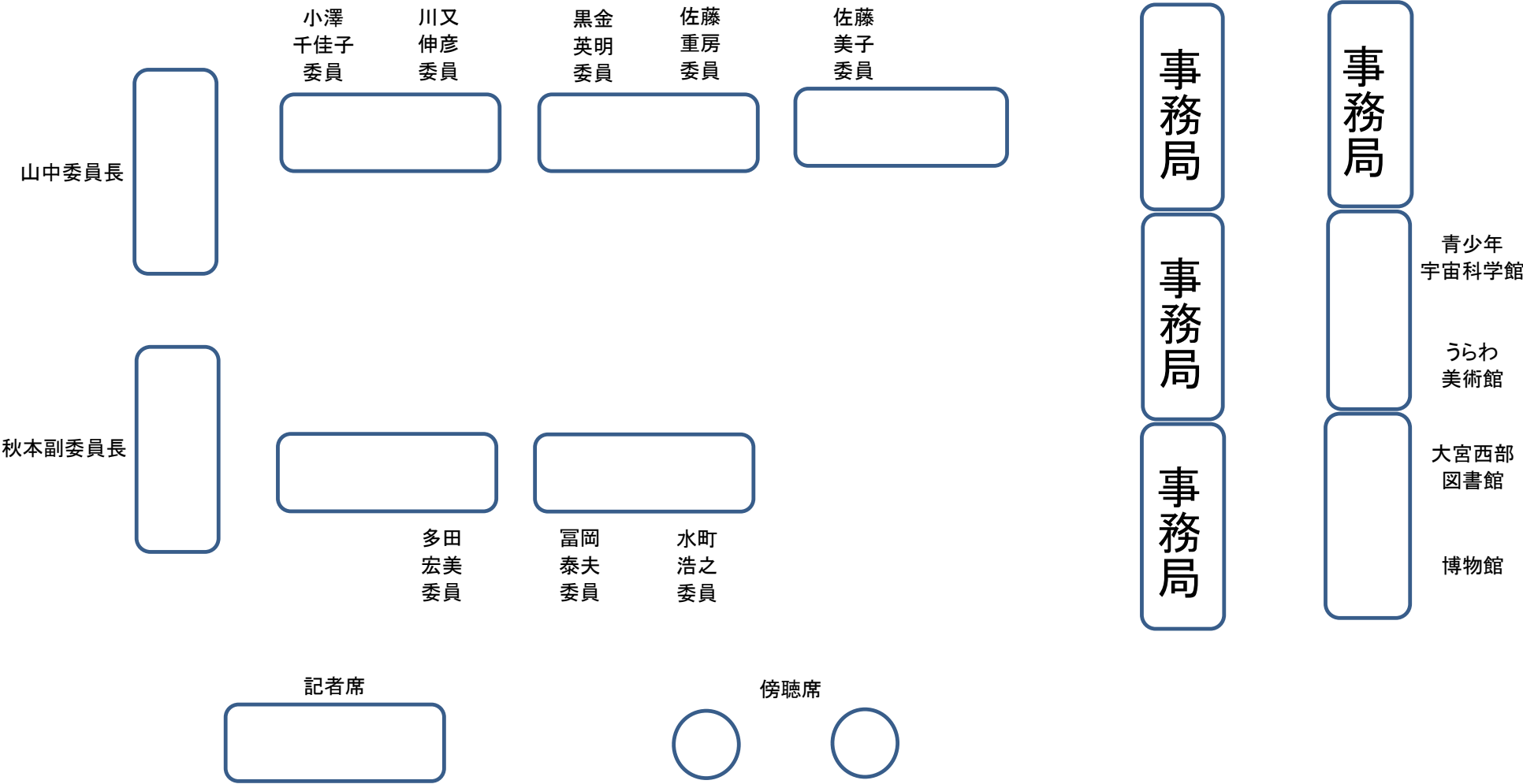
② 市民企画コース ～ パソコンコース

③ 科学コース ～ 歴史コース

5 閉 会

令和7年度第2回さいたま市民大学運営委員会 席次表

令和7年10月27日(月)
14時～15時30分
生涯学習総合センター
10階 多目的ホール



令和7年度第2回さいたま市民大学運営委員会 委員名簿

委員任期: 令和7年7月1日～令和9年6月30日

No.	役 職	氏 名	所属・役職等
1	副委員長	秋本 創	NPO法人埼玉情報センター事務局次長
2	委員	小澤 千佳子	子育て支援総合コーディネーター
3	委員	川又 伸彦	放送大学埼玉学習センター所長・特任教授
4	委員	黒金 英明	さいたま商工会議所理事・事務局長
5	委員	佐藤 重房	さいたま市文化振興事業団 文化芸術振興部長
6	委員	佐藤 美子	日本芸術文化振興会 専門委員
7	委員	関根 広美	さいたま市社会教育委員
8	委員	多田 宏美	彩の国さいたま芸術劇場職員
9	委員	富岡 泰夫	公募委員
10	委員	水町 浩之	公募委員
11	委員長	山中 冴子	埼玉大学准教授

令和7年度 第1回さいたま市民大学運営委員会 議事録

1 開催日時

令和7年7月24日（木） 午前10時から午前11時30分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員：11名〉

- | | |
|----------|------|
| ① 山中 冴子 | 委員長 |
| ② 秋本 創 | 副委員長 |
| ③ 小澤 千佳子 | 委員 |
| ④ 川又 伸彦 | 委員 |
| ⑤ 黒金 英明 | 委員 |
| ⑥ 佐藤 重房 | 委員 |
| ⑦ 佐藤 美子 | 委員 |
| ⑧ 関根 広美 | 委員 |
| ⑨ 多田 宏美 | 委員 |
| ⑩ 富岡 泰夫 | 委員 |
| ⑪ 水町 浩之 | 委員 |

〈事務局：7名〉

生涯学習総合センター

- | | |
|--------------|--------|
| ① 館長 | 杉本 達洋 |
| ② 副館長 | 大城 冬樹 |
| ③ 主幹兼事業・企画係長 | 山田 浩行 |
| ④ 事業・企画係主査 | 三好 七月 |
| ⑤ 事業・企画係主事 | 小暮 裕貴 |
| ⑥ 社会教育指導員 | 渡邊 京子 |
| ⑦ 社会教育指導員 | 永井 紀美子 |

4 報告事項

- (1) 令和6年度さいたま市民大学実施結果について
- (2) 令和7年度さいたま市民大学実施状況について

5 協議事項

- (1) 令和8年度さいたま市民大学各コース（案）について

6 その他

(1) 運営委員会等のスケジュールについて (予定)

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 開会

冒頭、委員全員に委嘱状の交付を行った。

その後、委員長・副委員長の選出を行い、委員の互選により、委員長には山中冴子委員、副委員長には秋本創委員が就任した。

10 報告内容

(1) 令和6年度さいたま市民大学実施結果について、事務局から資料1を基に説明。

以下、質疑等の内容

水町委員	アンケートの選択肢とパーセンテージの出し方はどのようになっているか。
事務局	アンケートの「学びや気づき」の評価は4段階で、「大いにあった」、「あった」、「少しあった」、「なかった」だが、そのうちの上2つ「大いにあった」、「あった」の合計でパーセンテージを出している。 「満足度」のパーセンテージについては、「講座の内容はどうだったか」のうち、上2つ「満足」、「やや満足」の合計で出している。
佐藤美子委員	アンケートは全員から取るのか。
事務局	原則、最終日に参加者全員から取るが、子どもについては他の講座と同様のアンケートという形ではお願いしていない。そのため、資料1-1では子どもの講座は適用外としている。
佐藤美子委員	アンケートの回収率と方法はどのようになっているか。
事務局	回収率は高い。講座の最後にアンケート用紙に記入していただいている。
川又委員	実受講者の39歳以下の人数は子ども向けの講座で稼いでいる感じがあり、それ以外では0人の講座もある。トータルでは目標を達成しているが、目標と実情の関係は少し検討する必要があるのではないか。
事務局	ご指摘のように、39歳以下には子どもも含んでいる。子ども以外の39歳以下を増やすように考慮しつつ講座の構築などお考えいただければと思う。
富岡委員	実質的な結果は資料1-1の表でわかるが、全体的なまとめや分析が文章でもあるとよい。コースについての意見やコメントを分析した結果は次の年度に活かせると思う。 また、倍率が極端に低いコースや、学びや気づきで80%を超えていないものについて、課題として文書で示してもらえれば、次の企画への参考になると

	思う。
秋本副委員長	運営委員会で選んだ市民企画「大人のための金融リテラシー」講座が一番学びや気づきが少ないのは課題ではないか。学び、気づき、満足度が低い原因がどこにあるのか、団体を審査する際にどのようなところに気を付けて選考すればいいのか教えてほしい。
事務局	「大人のための金融リテラシー」講座については、内容が自分の思っていたレベル感と違っていたとの意見があったので、受講者を募集する際にしっかりと周知しなくてはならないと考えている。
小澤委員	市民大学は高度なものを提供するということだと思うが、子ども対象講座の市民大学における割合はどの程度と考えているか。
事務局	さいたま市もこどもまんなか社会の実現に向けて取り組んでいる。子ども対象講座は増やしていくべきと考えている。一方、今までどおり講座を受けたいという大人もいるので、バランスを考慮すると大幅に増やすのは難しい。
佐藤重房委員	令和 6 年度で、倍率が 1 倍を切っているのが 18 分の 7 で、4 割弱くらいあるが、これを令和 7 年度にどう活かしたのか。
事務局	この後、7 年度の講座について説明するが、前年度の総括を反映して企画した。
山中委員長	昨年度の運営委員会では、倍率が市民大学のニーズとどのように関わっているかを捉えるのが難しいということもあり、倍率というよりは様々な内容をどのように網羅するかに重きを置いて話し合ってきたと思う。
関根委員	市民企画コースの団体を選考する際の基準をもう少し具体的にわかりやすくしていただけるとよいと思う。選考基準のあいまいさが、数字や市民企画への応募者のレベルのバラつきに影響するのではないか。
事務局	運営委員の皆様には、ぜひ市民目線や専門的見地からのご意見をいただきたい。講座申込倍率については、資料 1-3 の左上にあるように、アンケートによると市報さいたまで知った人が圧倒的に多いのだが、市報さいたまに載る情報が基本的にはテーマのみとなっており、そこに記載された文言が応募状況に影響していると思われる。 また、レベルに関しては専門性の高いものほど受講生の期待とのギャップが生まれやすいので、ご意見をいただければありがたい。

(2) 令和 7 年度さいたま市民大学実施状況について、事務局から資料 2 を基に説明。

以下、質疑等の内容

事務局	令和 6 年度と令和 7 年度の違いについてだが、生成 AI コースは、若い方の参加を促すため、オンラインでの夜間開催で実施した。また、地域ボランティアコースは、令和 6 年度はパソコンのボランティア講師養成講座であったが、令和 7 年度は日本語ボランティア入門講座に変更した。
佐藤美子委員	39 歳以下の受講者人数の目標を達成するために、ターゲットとした講座はあるか。

事務局	生成 AI、IT スキル、パソコンコースの一部など、若い方をターゲットとして企画した講座は、「抽選の場合は 39 歳以下の方を優先」とし、参加を促している。
佐藤美子委員	現状では、高齢者が参加しやすい時間帯や講座内容が多く見受けられる。39 歳以下の参加者数を目標として掲げるのであれば、企画段階からターゲット層に適した講座内容や開催時間を検討する必要がある。
黒金委員	令和 7 年度のオンライン開催はとても良い。平日昼間の開催だと、固定の年齢層が中心となりがちである。より幅広い年齢層に受講してもらうために、テーマや内容に加え、手法を含めて広く検討していく必要がある。
事務局	各年齢層で参加しやすい時間帯がある中で、オンライン講座は有効であるが、現在、市民大学で利用しているオンラインシステムは同時接続 100 名までが上限となっている。
事務局	さいたま市総合振興計画という市の最重要の計画があり、その中で 39 歳以下の目標設定がある。一方で、市民大学であるので、年齢層を問わず市民にくまなく学びの場を提供していかなければならない。ご指摘の通り、現在設定している開催曜日や時間帯は固定層になりがちであるので、オンライン開催や曜日・時間帯の工夫、刺さる文言での広報など工夫の余地がある。アンケートによると圧倒的に市報という紙媒体がメインとなっているが、最近は市民アプリの中で、プッシュ通知から辿ると細かい内容まで知ることができる。その中で市民により興味を持ってもらえる表現・ワードを散りばめるなど工夫していく。必要に応じて委員の皆様からご意見を頂戴したい。
川又委員	放送大学でも対面授業の学生集めは課題となっている。シラバスは公開されていても学生は読まず、科目の見出しだけで選ぶ。要するに科目名で興味を持つかどうかが決まる。 市民大学の令和 6 年度と令和 7 年度のテーマを比較すると、7 年度はキャッチーな文言に工夫されていてよいと思う。今後もこのような表現を継続していくとよいと思う。 放送大学は土日に開講の科目が多い。市民大学でも土日の開講も検討したほうがよい。 令和 7 年度の環境・交通コースは、対象が小学 4 年生以上とあるが、平日の金曜日に設定されている。どのような意図か。
事務局	環境・交通コースの日程は、埼玉県民の日で、学校が休みとなる日に開催を予定している。

1 1 協議内容

(1) 令和 8 年度さいたま市民大学各コース（案）について、事務局から資料 3 を基に説明ののち、協議。

以下、質疑等の内容

水町委員	時間に限りがあるので各委員の案を事務局にメールで送り、集約してもらうことは可能か。
事務局	可能である。
水町委員	市民としては、39 歳以下にターゲットを絞ることそのものに違和感を覚える。40 代 50 代という生涯学習が本当に必要な世代も含めて、参加しやすい開催時間・曜日を検討して欲しい。平日を前提とした枠組みの中で議論をするのは難しい。令和 8 年度で難しければ、9 年度での実現に向けて検討していただきたい。また、1 コースの多数回開催を求めるニーズもあるのではないかな。1 コースで回数を増やすことができるのか、あるいは未定コース 2 つを集約して全 6 回コースにすることができるのか、ご意見をいただきたい。
事務局	未定コース 2 つを合わせて、回数を増やしたコースの設定は可能である。
佐藤美子委員	資料 3 や別表に当てはまらないテーマ案でもよいのか。
事務局	今回の資料で例示させていただいたもの以外のご意見も頂戴したい。
富岡委員	令和 7 年度教養 I コースのように、倍率も満足度も高く人気のあった講座はアップグレードさせて、令和 8 年度にも開催してもよいのではないかな。講座の進め方については、対話型講座や、次の学習や行動に示唆を与えるような講座手法を取り入れてもらいたい。また、オンラインだけでなく、サテライト実施を検討いただきたい。 未定のテーマについて、大人の探求型学習を取り入れるのはどうか。探求型学習によって、新たな知見を得て自ら次の学びに生かしていくことができるのではないかな。探求型学習については、図書館司書が詳しいのではないかな。
事務局	ニーズの高かった講座について、次年度にアップグレードしての開催は可能である。 対話型学習については、令和 7 年度の地域ボランティアコースが、ワークショップを取り入れた対話型学習であり、受講生がボランティア活動に踏み出すきっかけづくりを念頭に置き開催した。満足度が高く好評だった。 サテライト開催、探求型学習についても検討していきたい。
秋本副委員長	オンラインの他に、アーカイブ講座実施の可能性はあるのか。
事務局	アーカイブについても検討していきたい。
山中委員長	資料 3 の枠組みは固定なのか。未定コースのうち、1 つは必ずオンライン開催なのか。
事務局	オンラインコースは、1 つは開催を必須としたい。各コースの枠組みは必ずしも固定ではない。
事務局	事務局から事務局への質問となるが、図書館との連携コースは、文学縛りなのか。富岡委員よりご意見をいただいた探求型学習に関して、学校図書館司書に触れていただいたが、情報リテラシーという重要なポイントについて、まさに図書館司書が自分の知見を通じて正しい情報を市民に知らせることを日々行っていると聞いている。図書館だから文学コースであるという枠に囚われず、コース内容を検討していくことは可能なのか。
事務局	令和 8 年度については、既に図書館から提示されている講座案があることか

	ら、調整をしながらとはなるが、今後、今回のご意見が反映できるか更に話をしていく。
--	--

1 2 その他

令和 8 年度運営委員会等のスケジュールについて、事務局から資料 4 を基に説明。

1 3 閉会

4 協議事項（１） 令和８年度 さいたま市民大学各コース（案）について

資料 1

各コース実施予定

	コース名	会場	回数	定員	総数	形式	申請	費用	開催時期	講座概要
1	教養Ⅰコース	生涯学習総合センター（大宮区）	3回	90人	270人	対面	生涯学習情報システムによる申請	1,500円	未定	SNSやメディアが社会の分断を加速する現代。対立や排外主義の背景を探りながら、共に生きる社会の可能性、多様性を包摂する視点について考える。
2	教養Ⅱコース	生涯学習総合センター（大宮区）	3回	90人	270人	対面		1,500円	未定	認知心理学の知見から記憶や判断のしくみを学びながら、情報との付き合い方を見直す。
3	心理コース	生涯学習総合センター（大宮区）	3回	90人	270人	対面		1,500円	未定	臨床心理学の知見からこころのしくみを学びながら、生きづらさや孤立への向き合い方、支援のプロセスについて考える（R7年度実施「臨床心理学の扉を開く」の発展版）。
4	さいたまの魅力コース	造幣さいたま博物館（大宮区）	1回	60人	60人	対面		調整中	11月～12月	造幣さいたま博物館で座学と施設見学を行いながら、貨幣の歴史や製造工程について学ぶ。
5	こどもの交通コース	JALメインテナンスセンター1（東京都大田区）	1回	60人	60人	対面		無	夏休み又は冬休み期間	座学と施設見学を交えながら、航空機を通じて環境問題や空の安全について学ぶ。
6	おとなの交通コース	生涯学習総合センター（大宮区）	2回	90人	180人	対面		1,000円	未定	江戸～明治期にかけて日本海沿岸を行き来し、地域の交流と経済の発展に貢献した北前船（北国廻船）。物流だけでなく文化や人の交流も生んだ北前船の歴史や、それがもたらしたものについて学ぶ。
7	メディカルコース	生涯学習総合センター（大宮区）	2回	90人	180人	対面		1,000円	未定	脳疾患や心臓病など、病気に関する知識を深める。
8	ビジネススキルコース	生涯学習総合センター（大宮区）	1回	90人	90人	オンラインまたは動画配信		無	未定	情報過多の時代にこそ必要となる問いの立て方について学び、自分で考える習慣を育てる。
9	市民企画コース	生涯学習総合センター（大宮区）	4回	50人	200人	対面		2,000円	未定	知識構成型JIGSAW法を用いて、対話をしながら文学作品を鑑賞していくワークショップ
10	ICTスキルコース	生涯学習総合センター（大宮区）	1回	20人	20人	対面		2,200円	未定	グラフィックデザインツール「Canva（キャンバ）」の使い方を学び、自分好みのグラフィックをデザインしてみましょう。
11	プログラミングコース（子ども向け）	生涯学習総合センター（大宮区）	4回	20人	80人	対面		無	8月	スクラッチを使ってプログラミングを行い、論理的思考を学びます。
12	パソコンコース（初心者・応用）	生涯学習総合センター（大宮区）	40回	20人	800人	対面		3,000円	通年	Word2021, Excel2021, Power Point2021について学ぶ講座（10講座×4回＝40回を想定）
13	科学コース	青少年宇宙科学館視聴覚ホール（浦和区）	4回	10人	40人	対面		無	9月～10月	ロボット制御を通して、楽しみながらプログラミングへの興味・関心を高めます。
14	美術コース	仲町公民館又は岸町公民館（浦和区）	2回	45人	90人	対面		1,000円	5月～6月	展覧会「とっておきをひろくーさいたまをめぐる美術」にあわせて、地域文化の魅力を紹介する講座です。文教の街として歩んできた地域の歴史と、芸術家・瑛九と田中保に関する調査エピソードを通じて、教育と美術それぞれの側面からさいたまの文化を見つめます。
15	文学Ⅰコース	大宮西部図書館（北区）	3回	70人	210人	対面		1,500円	6月	様々な西洋文化が取り入れられ、新しい時代の幕開けとなった明治時代。印刷の技術や出版文化も花開きました。昨年度大好評だった2名の講師による講座を、時代を一つ進めた「明治」で開催します。
16	文学Ⅱコース	大宮西部図書館（北区）	2回	17人	34人	対面		1,000円	6月～7月	戦後詩人石垣りんなどの詩を使って、鑑賞のポイントや現代詩史に触れてみませんか？ 詩人・奥間瑳乃氏による、意見を交わしながら知識を深める、少人数・対面式のゼミのような講座です。
17	歴史コース	生涯学習総合センター（大宮区）	5回	90人	450人	対面		2,500円	10月～11月	さいたま市に現在まで伝えられている、様々な歴史資料とその分析を通して浮かび上がる、さいたま市の個性について考える。
合 計			81回	1,002人	3,304人					

1

コース名	教養Ⅰコース 〔全3回〕	開催日時	〇月の平日 14時～16時
テーマ	分断の時代を越えて—共に生きる社会を考える		
概 要	SNSやメディアが社会の分断を加速する現代。対立や排外主義の背景を探りながら、共に生きる社会の可能性、多様性を包摂する視点について考える。		
対象 ターゲット層	テーマについて興味がある方どなたでも	定 員	90人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における分断と、それがもたらす孤立、不信、対立 ・排外主義の背景や特徴 ・公共性の喪失と「共に生きる」ことの難しさ ・多様性と包摂の視点 		

2

コース名	教養Ⅱコース 〔全3回〕	開催日時	〇月の平日 14時～16時
テーマ	こころのクセを知る—認知心理学で情報社会を読み解く		
概 要	認知心理学の知見から記憶や判断のしくみを学びながら、情報との付き合い方を見直す。		
対象 ターゲット層	テーマについて興味がある方どなたでも	定 員	90人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知心理学とは何か(記憶、注意、知覚、判断など) ・フェイクニュースに騙される心理的メカニズム ・認知のクセを知って、自分を守り、社会を守る 		

3

コース名	心理コース 〔全3回〕	開催日時	○月の平日 14時～16時	
テーマ	こころを支える知と技術			
概 要	臨床心理学の知見からこころのしくみを学びながら、生きづらさや孤立への向き合い方、支援のプロセスについて考える(R7年度実施「臨床心理学の扉を開く」の発展版)。			
対象 ターゲット層	テーマについて興味がある方どなたでも		定 員	90人
内 容	・こころはどうやって動いているのか ・気持ちと考え方はつながっている ・生きづらさや孤立への向き合い方や支援の方法			

4

コース名	さいたまの魅力コース 〔全1回〕	開催日時	11月～12月の平日 ※時間帯は調整中	
テーマ	貨幣の歴史や製造工程を学ぶ			
概 要	造幣さいたま博物館で座学と施設見学を行いながら、貨幣の歴史や製造工程について学ぶ。			
対象 ターゲット層	テーマについて興味がある方どなたでも		定 員	60人
内 容	・貨幣や博物館の歴史に関する施設職員の講義 ・工場で貨幣の製造工程を見学 ・博物館で施設職員にガイドを受けながら見学			

5

コース名	こどもの交通コース 〔全1回〕	開催日時	夏休み又は冬休み期間
テーマ	空の交通と環境を学ぶ		
概要	座学と施設見学を交えながら、航空機を通じて環境問題や空の安全について学ぶ。		
対象 ターゲット層	テーマについて興味がある親子(どなたでも)	定員	30組60人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・そらエコ教室(環境問題への取り組み) ・ミュージアム体験 ・格納庫見学 		

6

コース名	おとなの交通コース 〔全2回〕	開催日時	〇月の平日 14時～16時
テーマ	北前船の航跡に学ぶ交流と経済の知恵		
概要	江戸～明治期にかけて日本海沿岸を行き来し、地域の交流と経済の発展に貢献した北前船(北国廻船)。物流だけでなく文化や人の交流も生んだ北前船の歴史や、それがもたらしたものについて学ぶ。		
対象 ターゲット層	テーマについて興味がある方どなたでも	定員	90人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北前船の繁栄の歴史 ・北前船がもたらしたもの(異文化交流、地域資源の活用) ・北前船の寄港地めぐり 		

7

コース名	メディカルコース 〔全2回〕	開催日時	○月の平日 14時～16時	
テーマ	脳疾患と心臓病の正しい知識で命を守る			
概 要	脳疾患や心臓病など、病気に関する知識を深める。			
対象 ターゲット層	テーマについて興味がある方どなたでも	定 員	90人	
内 容	・脳梗塞・脳出血・くも膜下出血等について ・心筋梗塞・不整脈等について ・生活習慣や危険因子 ・発症時の対応や最新治療			

8

コース名	ビジネススキルコース 〔全1回〕	開催日時	○月の平日 19時～20時30分 ※オンラインまたは動画配信 での実施を予定	
テーマ	問いのチカラー情報社会を生き抜く思考術			
概 要	情報過多の時代にこそ必要となる問いの立て方について学び、自分で考える習慣を育てる。			
対象 ターゲット層	テーマについて興味がある現役世代	定 員	90人	
内 容	・なぜ「問い」が大切なのか ・「問い」の種類と質を考える ・問いを立てる技術と習慣			

9

コース名	市民企画コース 〔全4回〕	開催日時	7月及び2月の平日 13時30分～15時30分
テーマ	「おとなジグソー」～現代の子どもたちが学ぶ学習方法で、「国語」の定番教材を学びなおしてみる～		
概要	知識構成型JIGSAW法を用いて、対話をしながら文学作品を鑑賞していくワークショップ		
対象 ターゲット層	どなたでも	定員	50人
内容	日本語による小説等を用いた対話型グループ学習を行う。 第1回 芥川龍之介『鼻』 第2回 星新一『おーい、でてこーい』 第3回 芥川龍之介『蜘蛛の糸』 第4回 安倍公房『鞆』		

10

コース名	ICTスキルコース 〔全1回〕	開催日時	〇月の土曜日 9時～16時
テーマ	Canva でグラフィックデザイン		
概要	グラフィックデザインツール「Canva(キャンバ)」の使い方を学び、自分好みのグラフィックをデザインしてみましょう。		
対象 ターゲット層	グラフィックデザインツールについて学びたい市民等 ※令和7年度の IT スキルコース受講者を除く	定員	20人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作 ・テンプレートの探し方 ・テンプレートのカスタマイズ ・チラシ作成 ・動画作成 		

11

コース名	プログラミングコース 〔全2回×2講座〕	開催日時	8月の平日 9時30分～12時30分
テーマ	【夏休み特別講座】 小学生がスクラッチを使ってプログラミングを学ぶ		
概 要	スクラッチを使ってプログラミングを行い、論理的思考を学びます。 (OS:Windows11 Soft: Scratch3.0)		
対象 ターゲット層	全回出席可能な小学4～6年生 (①4年生対象、②5・6年生対象) ※令和7年度 of プログラミングコースの受講者を除く	定 員	各20人×2講座 (計40人)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラッチの基本操作 ・プログラミングの基礎 ・アニメーションやゲームを作ってみよう 		

12-1

コース名	パソコンコース Word&Excel(初心者) 〔全4回×6講座〕	開催日時	5月・6月・7月・10月・11月・1月 9時30分～12時30分 または13時00分～16時00分
テーマ	Word と Excel の基本操作を学ぶ		
概 要	Word2021、Excel2021 のパソコンスキルの向上を図ります。(初心者向け) 〔OS:Windows11 Soft:Microsoft Office2021〕		
対象 ターゲット層	パソコンスキルアップを目指す市民等(マウス操作、文字入力等の基本操作ができる方) ※令和7・8年度 of 同講座受講者を除く	定 員	各20人×6講座 (計120人)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から仕事や暮らしに役立つ Word、Excel を学ぶ 〔Word〕表を含む文書作成、ワードアート・画像挿入 〔Excel〕データ入力、関数、グラフ作成、データベース操作 		

12-2

コース名	パソコンコース Word&Excel(応用) 〔全4回×2講座〕	開催日時	9月・12月 9時30分～12時30分 または13時00分～16時00分
テーマ	Word の一歩進んだ使い方を学ぶ Excel の一歩進んだ使い方を学ぶ		
概要	実務に役立つ Word2021、Excel2021 のパソコンスキルの向上を図ります。(中級者向け)〔OS:Windows11 Soft:Microsoft Office2021〕		
対象 ターゲット層	パソコンスキルアップを目指す市民等 (Word、Excel の基本操作ができる方)	定員	各20人×2講座 (計40人)
内容	・実務に役立つ Word、Excel を学ぶ 〔Word〕図形や写真を使ったチラシの作成、差し込み印刷で宛名ラベルの作成、長文での表紙・目次の作成、Excel データの挿入などを学ぶ 〔Excel〕よく利用する関数、条件付き書式、入力の規制、複合グラフやピボットテーブルの利用、マクロ記録の利用、データベースの活用などを学ぶ		

12-3

コース名	パソコンコース PowerPoint(基礎) 〔全4回×2講座〕	開催日時	9月・2月 9時30分～12時30分 または13時00分～16時00分
テーマ	PowerPoint2021 の基本機能を学ぶ		
概要	PowerPoint2021 のパソコンスキルの向上を図ります。(初級者向け) 〔OS:Windows11 Soft:Microsoft Office2021〕		
対象 ターゲット層	パソコンスキルアップを目指す市民等 (Word の基本操作ができる方)	定員	各20人×2講座 (計40人)
内容	・プレゼンテーションに必要な知識、PowerPoint を使ったスライドの作成及び プレゼンテーションの機能を学ぶ		

13

コース名	科学コース 〔全2回(2回×2講座)〕	開催日時	9/6、9/13、10/4、10/18 各日曜日(2回×2講座) 9時30分～11時30分
テーマ	「ロボットで学ぼう 簡単プログラミング 目指せロボコン！」		
概要	ロボット制御を通して、楽しみながらプログラミングへの興味・関心を高めます。		
対象 ターゲット層	小学4年生～中学生	定員	20人 (10人×2講座)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットの構造 ・プログラミングの基本 ・ロボットの基本制御 ・センサーの学習 ・センサーによるロボットの制御 ・ロボット制御ミッションにチャレンジ 		

14

コース名	美術コース 〔全2回〕	開催日時	5月下旬の平日 14時～16時
テーマ	さいたまをめぐる教育と美術の交差点 ～文教の街の歩みと浦和絵描き～		
概要	<p>展覧会「とっておきをひらくーさいたまをめぐる美術」にあわせて、地域文化の魅力を紹介する講座です。文教の街として歩んできた地域の歴史と、芸術家・瑛九と田中保に関する調査エピソードを通じて、教育と美術それぞれの側面からさいたまの文化を見つめます。</p>		
対象 ターゲット層	専門的すぎない内容で、地域の歴史や美術を身近に 学びたい市民(どなたでも)	定員	45人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「文教の街・浦和の歴史」…地域の教育文化の歩みを、埼玉大学の歴史資料とともに紹介し、文教の街として発展してきた浦和の姿をたどります。 ・「浦和絵描き・その調査の歩み」…瑛九と田中保の作品資料をもとに、当時の調査経験談を交えながら、地域ゆかりの芸術家の魅力に迫ります。 ・備考:展覧会「とっておきをひらくーさいたまをめぐる美術」4/18～6/21(予定) 		

15

コース名	文学 I コース〔全3回〕	開催日時	6月の平日 14時～16時	
テーマ	時代劇やドラマではわからない明治の文化－芸術と思想／文字とメディア－			
概 要	様々な西洋文化が取り入れられ、新しい時代の幕開けとなった明治時代。印刷の技術や出版文化も花開きました。昨年度大好評だった2名の講師による講座を、時代を一つ進めた「明治」で開催します。			
対象 ターゲット層	文学について学びたい市民等（どなたでも）	定 員	70人	
内 容	第1回……竹中朗氏（サムライたちが担った明治の絵画） 第2回……古賀弘幸氏（文字文化から見る明治時代①） 第3回……古賀弘幸氏（文字文化から見る明治時代②）			

16

コース名	文学Ⅱコース〔全2回〕	開催日時	6月～7月の平日 14時～16時	
テーマ	背景が分かると面白い！「ようこそ、詩の世界へ」（仮）			
概 要	戦後詩人石垣りんなどの詩を使って、鑑賞のポイントや現代詩史に触れてみませんか？ 詩人・奥間埜乃氏による、意見を交わしながら知識を深める、少人数・対面式のゼミのような講座です。			
対象 ターゲット層	詩について学びたい市民等（どなたでも）		定 員	17人
内 容	第1回……奥間埜乃氏（戦後現代詩の世界をのぞこう） 第2回……奥間埜乃氏（詩人石垣りんの詩篇に触れよう）			

コース名	歴史コース〔全5回〕	開催日時	10月～11月の毎週水曜日 14時～16時	
テーマ	歴史資料からさいたま市の個性を考える 明治時代編			
概 要	さいたま市に現在まで伝えられている、様々な歴史資料とその分析を通して浮かび上がる、さいたま市の個性について考える。			
対象 ターゲット層	さいたま市の歴史について学びたい市民等（どなたでも）	定 員	90人	
内 容	・自由民権運動 ・さいたま市の鉄道 ・明治期の公園 ・見沼通船会社 ・鳳翔閣とさいたまの学校			